

# 課題解決に向けた行動計画

## チーバ君チーム

2022年度  
第1回地域緩和ケア連携調整員研修（ベーシックコース）

### 【チームメンバー】

参加施設・所属	氏名（職種）
千葉県がんセンター 緩和医療科	坂下美彦（医師）
千葉県がんセンター 患者総合支援センター 入退院支援室	埜口純子（看護師）
千葉県がんセンター 患者総合支援センター 入退院支援室	渡辺 彩（看護師）

## ① 選定した地域の課題

地域によって訪問診療所や訪問看護ステーションの数や提供できる医療ケア内容等が異なるため、連携先に偏りが出ている。

## ② どんな地域を目指すのか

どこに住んでいても安心して療養できる地域の緩和ケア体制を目指す。

### ③ 目指す地域を実現するために取り組むべきこと

1. 在宅連携のコーディネート工夫
2. 在宅連携後や再入院後も、フィードバックや困りごとの相談ができるようにカンファレンスを行う
3. 緩和ケア情報サイト「ちばがんナビ」の充実を県に提案する

## ④ 具体的な行動計画と ⑤ 目標達成時期

1. 緩和ケアの経験の少ない訪問診療所の場合はベテランの訪問看護ステーションとの組み合わせを意識するなどの連携を行う。新規開設された施設への連携を5件/年実施する。
2. オンラインも含めたカンファレンスを実施し、継続可能な方法を検討する。
3. 2月中に県のがん対策審議会緩和ケア推進部会に提案する。

全ての目標達成時期は1年後とする。